

## 自然ガイドやるのに資格って必要？

現在、自治体などが養成するガイド講習会修了者から資格を持たないガイドなどおよそ3000人のガイドがいると言われています。社団法人日本山岳ガイド協会の認定ガイドは、筆記試験、厳しい実技試験を通じて認定されたガイド資格です。しかし、当協会以外のガイドの多くは、そのような試験を受けていません。お客様が、ガイドを雇用する時に、どんな資格を有しているかわからないと選択する基準がありません。職業ガイドが、有する資格をお客様に提示出来ない事は、最低限の信用すら得られません。自らの質を高めるため、ガイドを志す方は、自然ガイドから認定ガイドまで全てのジャンルの資格を認定するわが国を代表する職業ガイド資格認定組織である日本山岳ガイド協会の資格認定を受けることをお勧め致します。また、当協会では多くの研修会が開催されています。資格取得後、さらにスキルアップを目指して、お客様に信頼されるより良いガイドを目指しましょう。

## 自然ガイド、登山ガイドの資格の種類は？

当協会では、次のようなガイド資格を認定しています。

**自然ガイドステージⅠ**…無積雪期の森林、野山、河川や人間社会と接する里山、山岳、山地、高原での自然や民俗を解説するエコツアーズなどのガイド。

**自然ガイドステージⅡ**…四季を通じて森林、野山、河川や人間社会と接する里山、山岳、山地、高原での自然や民俗を解説するエコツアーズなどのガイド。

**登山ガイドステージⅠ**…無積雪期の山地および山岳地の整備されたルート、山地、高原などの地域でのガイド。

**登山ガイドステージⅡ**…無積雪期山岳および山岳地の整備されたルート、および四季を通じて山地、高原などのガイド。

**山岳ガイド**…困難な岩壁、氷壁ルートを除き、全ての地域（登山ガイドング・グレードの2級以下）で季節を問わず活動するガイド。

そのほか、岩壁登攀などを業務とする登攀ガイド、アルプスのガイドなども行うヨーロッパアルプスなどで活躍する国際山岳ガイドの資格があります。

## 受験するには、どのくらいの経験が必要なの？

実際にガイド資格試験を受験するには、どの程度の経験が必要なのでしょうか？以下が、受験されるのに求められる最低限の登山経験です。

**自然ガイドステージⅠ**…満20歳以上で健康で体力があり、通算100日以上の自然活動経験を有する者。

**自然ガイドステージⅡ**…満20歳以上で健康で体力があり、本会の「自然ガイドステージⅠ」資格を有する者。ステージⅠの試験から連続して受験する場合は、ステージⅠの無積雪期実技試験を合格した者。通算100日以上の自然活動経験を有し、内10日以上の積雪期の自然活動経験を有する者。

**登山ガイドステージⅠ**…満20歳以上で健康で体力があり、通算120日以上の登山経験を有し、内10日間の積雪期である者。

**登山ガイドステージⅡ**…満20歳以上で健康で体力があり、通算120日以上の登山経験を有し、内20日間の積雪期である者。

**山岳ガイド**…満20歳以上で健康で体力があり、本会の定める登山経験・技術基準を満たす者。通算300日以上の登山経験を有し、内60日間の積雪期である者。岩壁、岩壁合わせて10ルート以上とそれの中で3ルート以上は、4級ルート以上者、一部または全部をリードで登ったことがある。

## 受験費用は、どのくらい？

例えば、自然ガイドステージⅠを受ける場合は、このようになっています。

・筆記試験料 20,000円 (2011年3月現在)

・二次試験（実技検定試験）受験料 28,000円

さらにステージⅡを続けて受験する場合は、二次試験として積雪期実技試験受験料は、30,000円です。(2011年3月現在)

その他、各資格の受験料は、当協会のウェブサイトをご覧ください。

## 試験の科目は、どんなもの？

自然ガイドステージⅠでは、次のようになっています。

### ●筆記試験科目

#### ①基礎的知識科目

①スポーツ科学の知識

②地球物理、気象、動植物、地理、地質、地形に関する知識

③山村の経済と歴史、民俗の知識

④山地、里山・里山の環境の知識

⑤自然環境保全知識

### ☆ガイド業務関連知識

①ガイド業務関連法（自然公園法、道路運送法、旅行業法、旅館業法、

労働保護法、森林・林業法、環境基本法、自然保護法など）

②ガイド倫理およびマナー

### ☆自然ガイド専門知識科目

①里山を中心とする植物、動物、鳥類の生態系などに関する自然の知識

②気象の知識 ③読図の知識 ④自然観察と解説に関する知識

⑤エコツアーズなど自然環境の保全や利用に関する知識

### ☆安全管理科目

①安全管理知識および緊急時対応に関する知識

②行動中の健康管理に関する知識

③セルフ・レスキューに関する知識

### ☆小論文

ガイドの役割や責務、およびガイドの資質について簡易

### ●実技検定試験科目

①無積雪期のルートガイディング技術と歩行技術

②セルフ・レスキュー、ロープワークと固定ロープの方法

③自然観察と解説および安全管理

## 自然ガイド・登山ガイドになるための手順

資格検定試験の概要  
※詳細をお知りになりたい方は、ウェブサイトにてご確認ください。

一次試験受験申請書の受付  
申請書類一式を、郵送にて、社団法人日本山岳ガイド協会事務局宛送付。

試験日の2週間前までに必着。

受験票の送付  
試験日の一週間前までに、受験番号、受験会場を記した受験票が到着。

一次試験の実施  
筆記試験：年2回（6月と11月）に東京にて実施。

一次試験合格者発表（合否通知）  
試験日の翌月末日までに合否通知書が到着。  
一次試験合格者には、二次試験の開催要項が送付。

二次試験（実技検定試験）・義務講習の申し込み  
試験または講習開催日の1週間前までに実技検定試験集案内が到着。  
なお、当協会前定の養成指導者による講習をお受け頂けますと、  
二次試験の科目が免除になるものがあります。

二次試験合格発表（合否通知）、義務講習修了通知  
各実技検定試験終了または義務講習修了日より約1ヶ月後に合否通知書を送付。合格および修了の、各科目の有効期間は発行日から3年間です。

全科目合格および修了  
受験資格（職能区分）における全ての科目を合格および修了しますと、  
ガイド資格認定通知書が送付されます。

本会正会員団体に入会し、正会員団体を通じて本会会員申請手続きを行う。  
本会よりガイド資格認定証（本会正会員証）およびガイドバッジを送付。

# 自然ガイドになろう

## 登山ガイドになってみたい



国際山岳ガイド連盟加盟  
社団法人日本山岳ガイド協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町25番地 堀木ビル6階  
電話03-3358-9806 FAX03-3358-9780  
www.jmgga.com E-mail office@jmgga.com

## ガイド資格試験受験者へ、合格者からのアドバイス



松本智広 (まつもと ともひろ)

資格 登山ガイド

所属 四国山岳ガイド協会

**仕事の紹介** 四国山をベースに、日本全国の山をご案内。お客様のリクエストを基に少人数の山行をこなさなくてはなりません。登山のあつたの寄り道なんかも楽しいですよ。登山靴のヒモの結び方からザックの背負い方までショップで教えてくれたノウハウをアドバイス。初、中級者の方にも好評です。ガイド業のほか林業に従事。

### アドバイス

全国の山々をガイドングして、お客様の最大満足を得るには？当然、安全を確保して、登山、トレッキング、登頂の満足を含めて以上に提供するには？というのがこの資格を取るきっかけとなりました。ガイドングを続けていく以上、最新の技術はもとより、登山を取り巻く情報を取り入れるくしないこの仕事はできないとも考えました。ガイドに入るといふことは、自己認識のレベルアップだということです。これからガイドになろうという方々へのアドバイスは、登山の安全度を高めるにはフリークライミングを日頃からやってみてください。ロープワークのできないガイドはガイドじゃないですよ。



原 絵里香 (はら えりか)

資格 登山ガイド

所属 埼玉山岳ガイド協会

### アドバイス

ガイドとしての技術や考え方は個人で登山するだけでは身につけません。そこで、私は事前講習会へ参加したり、ガイドの行う講習修了を受験したりしました。たいへん有益だったと思います。自分の力を過信せず、学ぶ姿勢が合格への近道だと思えます。



福村浩子 (ふくむら ひろこ)

資格 登山ガイド

所属 全九州アルパインガイドクラブ

### アドバイス

山の事故が新聞、マスコミで大きく報道されるたびに身が引き締まる。チョット「ここに」気を配れば、チョット「あれに」注意すれば…と思う。前に進む勇氣、後退する勇氣は紙一重、ここが一番難しい。人の命が大事なものは無いことを肝に銘じてガイドとして今後も精進を重ね、安全登山に励みます。



引地弘行 (ひきち ひろゆき)

資格 登山ガイド

所属 東北山岳ガイド協会

### アドバイス

筆記試験は、学習範囲が広い！こんなに沢山の山は認めない(受験まで時間が無い)が実感でした。しかし、早めから準備をしている人は1年程度で読解し、知識は付けられる内容です。(実地でどう生かすかは全く考えず) 極端に言えば山を全く知らない資格マニアが筆記試験に合格！もありえます。私は時間が無かったので、お金を使いました。「事前講習会」に参加しました。しかし、出題範囲の本を全部揃えたとしたらそちらの方が高価かも…必要な範囲は買いましたが…私のウィークポイントは自然分野でしたので…花、鳥、木、星など。「事前講習会」に参加して良かった事は、

- ①短時間で受験のポイントが判る(教えてもらえ)
- ②不明な点に質問ができる(本には質問できない)
- ③同じ境遇の仲間ができ、その後の受験勉強にも熱が入る(モチベーションが下がらない)その他情報交換ができる。

実技試験で感じた事は、結構、皆さん読図、レスキューで苦労しましたね〜！やはり山脈を求めている部分もある試験なので、山のカテゴリーの大体はこなすのが良いと思います。岩、沢、雪、氷…等は、私はやっていたことなので、あまり抵抗は無かったのですが…レスキューは岩、沢、雪、氷全てで必要ですし、読図は沢、雪では絶対条件ですから。

## 自然ガイドって何？

日本山岳ガイド協会の認定する自然ガイドは、山地、里地・里山や森林などの自然と人間社会との間のつなぎ役を担う役割を負っています。我が国では、古来から人間は自然と共生し、そのことにより山や森林は護られてきました。21世紀が目指す循環型社会、持続可能な社会を考えると、山、森林という言葉は、そのまま自然という言葉に置き換えることができます。

自然が相手ゆえに、当然、人間の視点からだけでは、これを築くことはできないことです。自然ガイドの役割は、人間社会と山や森林、自然との良い通訳者(インタープリター)であるといえます。



## 筆記試験、実技試験に役立つガイド・マニュアル

### ガイドマニュアル【自然ガイド編】増補改訂版

●価格1冊…3,000円(送料込み)

目次	第3章 専門の知識と技術
はじめに	旅館常務ルートガイドディング
第1章 基礎的知識	積雪常務ルートガイドディング
自然環境保全知識	読図の知識と技術
宇宙と地球の基礎的知識	自然観察と研究
気象の基礎的知識	エコツーリズムに関する知識
動植物の基礎的知識	気象と観光気象
地形と地質の基礎的知識	ロープの結び方
農林の歴史、民俗、経済に関する知識	引き上げ技術
山岳、登山に関する基礎知識	読図技術
第2章 安全管理	テーピングによる応急処置
安全管理の基礎	第4章 ガイド業務およびガイド業務関連法規
緊急時対応に関する知識	ガイド管理とツアー
リスクマネジメントの方法	ガイド業務に関する法令
山岳救急の分野	エコツーリズムに関する法令
救急救命の基礎的知識	参考文献と参考文献
セルフレスキューの方法	

ご購入はガイド協会事務局までご注文下さい



### ガイドマニュアル【ファーストエイド編】

●価格1冊…3,000円(送料込み)

目次	15. 低体温症
はじめに	16. 内臓の緊急な病気
1. ファーストエイドの順序	17. 腰痛
2. ファーストエイドの目的	18. 心むら返り
3. 救助者の役割	19. 目
1) 全身の観察	20. 熱中症(日射病、熱射病)
2) 風所の観察と治療	21. 頭痛
4. 骨折	22. 高級飲酒と酔きさめ
5. 捻挫	23. 突き指
6. 脱臼	24. 爪下血腫
7. 部の閉塞損傷、半月板損傷	25. 虫咬
8. 高齢者の三大損傷	26. 空帯と三角巾
9. 凍傷の応急処置	27. 動物を食した時
10. 顔の怪傷	28. 感染予防
11. 顔部外傷	29. ガイドの心のケア
12. 顔部外傷	30. 携帯予備薬品
13. 多発性外傷	参考文献
14. 凍傷	

### 受験のための事前講習会の開催

当協会では、ガイド資格受験のための準備講座として、次のような講習会を実施しています。

例年5月下旬に春の筆記試験に向けた講習会

#### 「自然ガイド・登山ガイド受験のための事前講習会」

5日間 丹沢・神奈川県立山岳スポーツセンター利用  
筆記試験対策としての講習/3日間および実技試験対策としての実技講習2日間。

例年11月 筆記試験直前対策講習会

#### 「筆記試験直前対策講習会」

内容 1日 会場 東京・四谷村辻/筆記試験の傾向と対策

※詳細につきましては、実施のおよそ4ヶ月前より告知いたします。



**全国の日本山岳ガイド協会正会員団体**

日本全国に32の社団法人日本山岳ガイド協会正会員団体があります。これらの正会員団体は、地域の特長にこだわったガイドグループであったり、全国各地にガイドを派遣するガイド組織であったり、その態様は様々です。各地でガイド業務を行っている668名の認定ガイドは、日本山岳ガイド協会の正会員団体のいずれかに必ず所属しています。

活動内容は様々です。とことん地元の人に密着した団体もありますし、海外の山々を舞台にガイドするメンバーが集結した団体もあります。まずは、ご自身のガイド活動に相応しいと思われる団体にコンタクトをしてみてください。必要な情報を得ることができるかもしれません。

また正会員団体が設立されていない地域についても、今後新たに正会員団体が設立される可能性も高く、すでにその準備を進めている地域もあります。社団法人日本山岳ガイド協会正会員団体が全国各地に存在することも公益性をふまえた社会的要請と考え、当協会ではこれにお応えできる準備を進めています。日本全国、どんな地域でも自然と山に囲まれているのが日本の国土です。そうした自然環境のもとで、ガイド登山の計画をされる方ははじめての方からの関連情報の問合せ先としても、社団法人日本山岳ガイド協会正会員団体は利用されています。

**日本山岳ガイド協会の認定ガイドは、こんな認定証とバッジを所持しています。**



**北アルプス山岳ガイド協会**

〒399-0301 長野県北安曇郡白馬村北城みそ野2490-19  
電話：0261-72-4325 FAX：0261-72-4718

**立山ガイド協会**

〒930-0292 富山県中野川郡立山町前沢2440  
立山町役場施工課内  
電話：076-626-9971 FAX：076-463-6611

**ハヶ岳山岳ガイド協会**

〒391-0013 長野県茅野市前川11311-8  
電話：0266-82-0595 FAX：0266-82-0555

**静岡山岳自然ガイド協会**

〒424-0836 静岡県静岡市清水区桜ヶ丘4-8  
(南) スターニアートラック内  
電話：054-940-8166 FAX：054-340-8166

**中部山岳ガイド協会**

〒500-8141 岐阜県岐阜市月丘5-13  
(後) アウトドアサポートシステム内  
電話：058-248-4711 FAX：058-248-4722

**飛騨山岳ガイド協会**

〒506-0004 岐阜県高山市相生町6-143 うき企園  
電話：0577-33-7065 FAX：0577-33-7235

**日本プロガイド協会**

〒448-0028 愛知県豊川市桜町1-13 穂高内  
電話：050-9023-9790 FAX：0566-21-6361

**関西山岳ガイド協会**

〒640-0012 大阪府大阪市中央区谷町3-4-5-01  
電話：06-6948-9311 FAX：06-6948-9311

**安曇野山岳ガイドクラブ**

〒390-0874 長野県松本市大平2-3-10 轟山荘内  
電話：0263-32-1536 FAX：0263-32-0898

**南信州山岳ガイド協会**

〒399-4117 長野県納言・根市赤穂11465-636  
電話：0265-83-9989 FAX：0265-83-9989

**信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ**

〒390-0304 長野県松本市大村1082-4  
電話：0263-34-1543 FAX：0263-87-7122

**アルパインクライミングガイド協会**

〒391-0109 長野県諏訪郡原村南18674-9  
電話：0266-79-2979 FAX：0266-79-2979

**四国山岳ガイド協会**

〒781-4222 高知県香美市香北町五百蔵209  
電話：0887-59-3324 FAX：0887-59-3324

**全九州アルパインガイドクラブ**

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-4-30  
天神街江七ビル4階 サンサン山岳倶楽部  
電話：092-718-2933 FAX：092-715-6880

**CHAMONIX GROUP**

94 CHEMIN DES BOULEAUX, 74400  
CHAMONIX, FRANCE  
電話：(75)21 33-450-63-40 FAX：(75)21 33-450-53-59-40

**認定ガイドになるには**

ガイド業を行うにあたってはここに記載された正会員団体32団体のいずれかに入会する必要があります。正会員団体に入会することで、日本山岳ガイド協会の認定ガイドとしての登録がなされ、社団法人日本山岳ガイド協会の「ガイド証」とガイドバッジが付与されます。ガイド業務を行う際には、「ガイド証」の携行が義務付けられています。「ガイド証」は、ガイドと認定されていることの大切な証となります。

**社団法人日本山岳ガイド協会正会員団体とは**

現在全国に32の正会員団体が登録されています。地域のガイド業務活動を中心に行う団体から、全国津々浦々のガイド業務を行う団体、あるいは、国際ガイドを中心とした団体まで様々な活動形態の団体の集まりです。それぞれの団体によって、運営方針が異なりますので、地域の密着性、活動内容などを考えながら入会する団体を選んでください。それぞれの地域で活動する正会員団体は、当然その地域のスペシャリストを揃えています。

山域で不明な点、案内が必要となった時などは、そのスペシャリストの団体に依頼するのが最も良いでしょう。

**北海道山岳ガイド協会**

〒060-0062 北海道札幌市中央区南五条西6丁目  
電話：011-261-2275 FAX：011-261-2019

**東北山岳ガイド協会**

〒992-1461 山形県米沢市赤山2118-7  
ペンションエンゼルハウス内  
電話：0238-55-2218 FAX：0238-55-2219

**東北マウンテンガイド・ネットワーク**

〒990-3765 山形県東根市神町南1-3-39  
電話：0237-47-1057 FAX：0237-47-1057

**レ・マームット**

〒135-0004 東京都江東区森下3-13-13-508  
電話：03-6715-5731 FAX：03-6715-5732

**ネイチャー・インストラクターズ・アカデミー・オブ・ジャパン (NIAJ)**

〒102-0072 東京都千代田区飯田町4-5-4  
CIJビル 飯田町ビル308  
電話：03-5212-4656 FAX：03-5238-3211

**日本登山インストラクターズ協会 (JMIA)**

〒154-0004 東京都世田谷区太子町1-13-11-105  
電話：03-3413-9611 FAX：03-3413-0230

**木風舎**

〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷南3-45-4  
電話：03-3393-2566 FAX：03-3393-7448

**山岳スポーツ指導協会**

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-47-7  
電話：03-3570-6893 FAX：03-3370-8177

**日本アウトドア教師協会**

〒101-0047 東京都千代田区千代田1-15-16 (後) コンプラン内  
電話：03-3291-0786 FAX：03-3291-0798

**ARIアルパインライミングスクール**

〒243-0112 神奈川県東甲郡清川村々々3698-1  
電話：0426-87-1038 FAX：0426-87-1040

**マウンテンツアーガイド協会**

〒101-0062 東京都千代田区神田麹町台2-8 瀬川ビル4F  
電話：03-3295-1768 FAX：048-687-8265

**片品山岳ガイド協会**

〒378-0005 群馬県沼田町久屋原161-1  
電話：0278-23-2878 FAX：0278-23-2878

**ジャパン・アルパイン・ガイド組合**

〒337-0008 埼玉県さいたま市見沼区春町3-48-4  
電話：048-687-8255 FAX：048-687-8265

**ウツドガイドクラブ**

〒272-0026 千葉県市川市真実5-6-4  
電話：047-373-6664 FAX：047-373-6664

**かながわ山岳ガイド協会**

〒224-0006 神奈川県横浜市磯区見花山11-18  
電話：045-941-8477 FAX：045-941-8477

**モンターニュガイドクラブ**

〒160-0023 東京都新宿区新宿南町6-3-1  
新宿グランドビルディング5F  
(原) クリエイティブセンター内  
電話：03-5323-6770 FAX：03-5323-6771

**埼玉山岳ガイド協会**

〒350-0045 埼玉県川越市南町19-2 レジデンスからもも106  
電話：049-298-8458 FAX：049-298-8476